

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	生活支援センターえがおⅡ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重症心身障害児に対して専門性のある職員を基準以上に配置し、手厚い支援を行っております。	児童発達支援管理責任者・看護師・理学療法士・保育士・児童指導員等の多職種で常に話し合いながら、その日のお子さまの体調・状況に合わせた支援を行っています。 看護職員等が添乗し二人体制の送迎を行い、事業所での様子をお伝えしています。必要に応じて相談・助言を行っております。	重症心身障害児や医療的ケア児に関する研修や学会等には県内外問わず積極的に参加し、支援に生かしています。
2	家族支援・きょうだい児支援にも力を入れています。また、ご家族からの相談や助言する機会を多く設けています。	家族やきょうだい児と一緒に参加できる行事を多く開催し、他の家族やきょうだい児との交流をしていただく機会を設けています。また、定期的にグループでお話をしたり、相談できる場を設けています。個別での相談も随時行っています。	SNSを活用し、日頃の活動や行事の様子などを発信しています。 重症心身障害児の家族向けの勉強会開催を検討しています。
3	木をふんだんに使用した室内はバリアフリー化し、温かさを感じられる空間で支援を行っております。	昨年の新築移転の際にスヌーズレン室を設け、個別や少人数でリラックスして過ごせる場所を用意しています。 室内は常に清潔に保ち、季節が感じられるような壁面や飾りつけなどを行っています。	今後もお子さまが安心して過ごせる空間作りに取り組んで参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々や子どもたちと交流する事	重症心身障害児の方々は感染症等に感染した場合の重症化リスクが高く、地域の方々や子どもたちと交流することは難しい現状です。	ご家族と相談をしながら、慎重に取り組んで参ります。
2			
3			